

# 板倉町 令和5年度 決算



**一般会計** 基本的な行政運営のための会計

**令和5年度決算**  
 一般会計は、緊急避難場所整備事業が令和4年度におおむね完了したことなどにより、歳入、歳出ともに令和4年度に比べ減少となりました。  
 基金(町の貯金)は、令和4年度の歳入歳出差引額の一部や交付税の増額分などを積み立てたため、37億3,244万円から40億9,784万円へと3億6,540万円の増加となり、借入金残高は返済が進んだため、42億8,333万円から38億7,690万円へと3億3,143万円の減少となりました。  
 歳入歳出差引額は、4億5,320万円となりました。これは、基金への積立と令和6年度の事業費に充てます。

億円は、福祉医療費をはじめとした各種社会保障関係経費の財源に充てました。  
**地方譲与税** 自動車重量税の譲与などで282万円の増加となりました。  
**町債** 緊急避難場所整備事業の終了や臨時財政対策債の減額により、2億4,870万円の減少となりました。  
**一般会計歳出**  
**(増減は令和4年度比)**  
 歳出総額は、60億9,067万円、2億9,545万円の減少となりました。  
**民生費** 物価高騰支援給付金や障害福祉給付費などの増により、1億4,614万円の増加となりました。  
**総務費** 新型コロナウイルス感染症関係の補助事業の減や基金積立額の減などにより、1億4,366万円の減少となりました。  
**教育費** 東小学校体育館の改修工事や指導員の拡充などにより、4,574万円の増加となりました。  
**衛生費** 新型コロナウイルスワクチン接種事業の減により、2,474万円の減少となりました。  
**土木費** 道路・橋梁の長寿命



改修工事を行った東小学校体育館

化工事や下水道事業特別会計への繰出の減などにより、560万円の減少となりました。  
**公債費** 返済が終了した借入が多く、225万円の減少となりました。  
**消防費** 緊急避難場所整備事業の完了などにより、3億206万円の減少となりました。  
**農林水産業費** 降ひょう被害への支援の完了などにより、1,975万円の減少となりました。  
**問合せ** 財政係 82-6126

## 特別会計 一般の歳入・歳出と区分して経理を明確にするために法令や条例に基づいて設ける会計

### ■特別会計決算額

事業名	歳入総額	歳出総額	差引残額
後期高齢者医療	1億9,989万円	1億9,747万円	242万円
国民健康保険	19億2,136万円	18億4,117万円	8,019万円
介護保険	13億243万円	12億8,227万円	2,016万円
下水道事業	2億1,226万円 (7,891万円)	1億9,015万円	2,211万円

下水道事業の( )内は、歳入総額のうち一般会計からの基準外繰入金

## 財政状況は健全 健全化判断比率は基準値以下

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、令和5年度決算に基づく健全化判断比率および資金不足比率を公表します。いずれの比率も財政上問題があると国が判断する「早期(経営)健全化基準」を下回っています。

### ■健全化判断比率

区分	令和5年度	令和4年度	早期健全化基準
実質赤字比率	-	-	15.00%
連結実質赤字比率	-	-	20.00%
実質公債費比率	6.3%	6.5%	25.00%
将来負担比率	-	-	350.0%

- 実質赤字比率は、実質赤字ではないため「-」と表示
- 連結実質赤字比率は、実質赤字ではないため「-」と表示
- 将来負担比率は、将来負担額に充てることができる財源などが将来負担額を上回っているため「-」と表示

### ■資金不足比率

特別会計の名称	令和5年度	令和4年度	経営健全化基準
下水道事業特別会計	-	-	20.0%

- 資金不足比率は、資金不足でないため「-」と表示

**実質赤字比率** 町の一般会計における赤字の程度が、町の財政規模に対してどれくらいの割合かを示すもの

**連結実質赤字比率** 町のすべての会計における赤字の程度が、町の財政規模に対してどれくらいの割合かを示すもの

**実質公債費比率** 町の一般会計が負担する借入金の返済費やこれに準じるものの支払いが、町の財政規模に対してどのくらいの割合かを示すもの

**将来負担比率** 町の一般会計が将来負担すべき実質的な負債が、町の財政規模に対してどのくらいの割合かを示すもの

**資金不足比率** 町の下水道事業特別会計の資金の不足額が、事業の規模に対してどれくらいの割合かを示すもの

## 歳出 60億9,067万円 歳入 65億4,387万円

### 一般会計歳出決算額

内訳	決算額
民生費	19億 627万円
総務費	12億6,755万円
教育費	6億4,711万円
衛生費	5億5,409万円
土木費	4億9,795万円
公債費	4億2,513万円
消防費	3億2,433万円
農林水産業費	2億9,562万円
その他	1億7,262万円
歳出合計	60億9,067万円

**用語解説** 民生費…幼児や高齢者などの福祉に使用/総務費…町の一般的な管理事務に使用/教育費…小中学校や公民館の経費、文化・スポーツ活動に使用/衛生費…ごみ・し尿の処理や住民健診に使用/土木費…道路や河川、公園などの整備・維持管理に使用/公債費…借りたお金の返済に使用/消防費…消防・防災のために使用/農林水産業費…農業や畜産の振興、土地改良などに使用

### 一般会計歳入決算額

内訳	決算額
町税	22億3,712万円
地方交付税	15億2,316万円
国庫支出金	8億 466万円
繰越金	6億7,948万円
県支出金	4億3,508万円
地方消費税交付金	3億5,779万円
地方譲与税	9,999万円
町債	8,530万円
その他	3億2,129万円
歳入合計	65億4,387万円

**用語解説** 町税…町民税や固定資産税などの税金/地方交付税…財政状況に応じて交付される税金/国庫支出金・県支出金…特定の事業を行うために国や県から交付される補助金など/繰越金…前年度からの持ち越し金/地方消費税交付金…消費税の一部からの交付金/地方譲与税…国に納められた税金の一部が譲与されるもの/町債…借入金

### 一般会計積立金現在高

内訳	令和5年度	令和4年度	増減率
財政調整基金	36億 227万円	33億3,837万円	7.9%
減債基金	6,926万円	6,924万円	0.0%
その他特定目的基金	4億2,631万円	3億2,483万円	31.2%
合計	40億9,784万円	37億3,244万円	9.8%

### 一般会計地方債(借入金)現在高

令和5年度	令和4年度	増減率
38億7,690万円	42億 833万円	△7.9%

**一般会計歳入**  
**(増減は令和4年度比)**  
 令和5年度の歳入総額は、65億4,387万円、5億2,173万円の減少となりました。  
**町税** 税収は、22億3,712万円、1,584万円の増加となりました。  
**地方交付税** 普通交付税が3,519万円の増加となり、特別交付税が1,823万円の減少となりました。  
**国庫支出金** 補助事業である緊急避難場所整備事業の終了や新型コロナウイルス感染症関係事業の縮小があったため、1億7,182万円の減少となりました。  
**繰越金** 令和4年度の歳入歳出差引残額が繰り越されて、令和5年度に引き継がれたものです。  
**県支出金** 令和4年度にあった降ひょう被害に対する農業者への補助が終了したことなどにより、950万円の減少となりました。  
**地方消費税交付金** 消費税の一部が県から交付されるものですが、75万円の減少となりました。なお、この交付金のうち社会保障財源化分の約2